



〔絵図を使って品物の説明する〕

シンキングタイムでは、「SOSカード」(資料17)や黒板の絵図をもとに、2~3の品物とその理由を書く活動を取り入れたことにより、グループでの発表や質問が活発に行われた。

事前調査では、視点をあてたY男やN子が、友達の「えっ、どうして?」という質問に対して自分の考えをしっかりと伝えたり、友達の発表を聞いてカードにチェックをし、理由を書き込んだりする姿が見られた。

(資料17) SOSカード

無人島SOS

番 名 前

あなたは大きな船に乗って島の旅を楽しんでいます。ところが、ひどい嵐がやってきて、船もこぼれこぼれてしまいました。あなたはこれだけ船のかけらにつかまって泳ぎだましました。ようやく嵐が過ぎ去り、小さな無人島にたどり着きました。ほてり暑い海と真い空。島には食べ物と水はありますが、他には何もありません。そこで、島で生きぬく生活を営むため、または島から脱出するためには、いったいどのようなものが必要でしょうか。次のものの中から、あなたがもっとも大切なと思うものを3つ選んで、必要と思うものに◎をつけてください。

※ 書ければ、理由も横に書いてみてください。

どれにしようかな?	理由	理由
	(.....だから)	例: ~さん()
マッチ		
なべ		
望遠鏡		○ 島が広くて見えないから (大抵かよって見ると)
おの	◎ 木を切るといろいろな道具が作れるから	
ナイフとフォーク		
ウイスキー		
ロープ		
海図		
テント		
毛布	◎ 夜と朝が寒いから	
時計 (電池つき)		
ラジオ (電池つき)		
針と糸		
カメラ (フィルム1本つき)		
タオル		
えん筆と紙		
薬 (いろいろな種類)	◎ 嵐が来た時に怪我をするから	
その他 (コンパス)		○ 方位を知らないと危険だから

児童の多くは、自分がいいと思った友達の考えや品物を取り入れていた。自分と友達の品物や考えを組み合わせ、より効果的な方法を考え出す児童も多く、グループとして案を検討しようとする班も見られた。



〔友達の考えのよさを取り入れ合う児童〕

最終決定の発表では、友達から自分の考えを取り入れられて満足した笑顔が数多く見られた。その笑顔の中にY男やN子もいた。特にY男は、全体発表の場面で自ら挙手をして発表するなど意欲的であった。

③ 互いのよさを認め合う活動を通して得られた喜びや満足を明確化・共有化するシェアリング「振り返りカード」(資料18)により、友達の考えを取り入れてみて感じたことや友達について気づいたことを記述した。

(資料18) 振り返りカード

1 今日の活動は、楽しかったですか?

(1) 質問ジャンケン とても (あまり) ぜんぜん

(2) 無人島SOS とても (あまり) ぜんぜん

2 友達の考え(理由をふくむ)を取り入れてみて、思ったことや感じたことはどんなことですか?

本当にこんなことになったら、私は自分で書いたのは、本当にひょうたななあと感じました。でも友達のも聞いて、こういうのもあるんだなあと感じました。とても楽しかったです。

3 今日の授業をやってみて、友達について、いろいろ感じたことや気づいたことを自由に書いてください。

友達は、私のえん筆と望遠鏡を「へー、こういうものだ」とか言っていました。私は友達の見聞もいなくて思いました。